



# 兵庫支部NEWS H21年 4月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭 (Tel.078-792-6130)

ホームページ: <http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono> メール: [hn75kb@ybb.ne.jp](mailto:hn75kb@ybb.ne.jp)

購読料 12回、1,500円(送料込)

購読のお申し込みは郵便振替

振替口座:00980-2-245822

口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

## 男性7000円、女性5000円 懇親会(船上パーティ)会費決定

3月27日(金)午後6時から「雲南茶苑」にて、兵庫支部月例会「三金会」が第3金曜日が祝日のため第4金曜日に延期して開催された。

出席者:大村実良(33商)平間正昭(37商)名越英昭(37米英)二宮慶治郎(38米英)前原賢作(40商)赤松初夫(40米英)安徳信義(44商)山田紘昭(44商)以上8名  
ゲスト参加:青木かおる(ラジオ関西)



[左手前から時計回り、平間、安徳、名越、二宮、前原、赤松、山田、大村、青木]

3月15日(日)の役員会で決定された支部総会開催要領に従って、山田副支部長が中心となって開催準備の打ち合わせがなされた。

### (1) 支部総会について

総会次第案を基に、役割分担を決める。今回は役員改選がないので、支部長から役員紹介をする事三金ゴルフ、歩こう会、囲碁の会等の同好会および兵庫支部NEWSについてそれぞれの担当者が報告する事などが確認された。

### (2) 特別講話について

兵庫支部NEWS紙上に連載された「年金、知って得、講座」の執筆者、土屋眞一氏に年金についての話をしてもらうことになり、あらかじめ質問事項を返信はがきで集めることになった。

### (3) 懇親会について

パーティプランA@¥9000.-中華バイキング、フリードリンク付きを予定しているが、本部・支部会計からの助成金をあて、会費を男性7,000円女性5,000円とすることになった。

懇親会次第は、クルージングを楽しんでもらう為できるだけ簡潔にすることにし、それぞれの役割分担が決められた。

### (4) その他

- \*案内状の発送を5月上旬位として早めに出席者数を集約する必要ある。
- \*「コンチェルト」のパンフレットを同封する為封書を利用する。
- \*パンフレット収集、案内文の作成担当を決める
- \*参加者勧誘を役員各自が分担して行う。

なお、詳細は5月に開催する役員会において、別途協議する予定である。

## 兵庫支部総会・懇親会ご案内

開催日:平成21年7月5日(日)

支部総会 : 14:00~15:00

於 兵庫教育大学神戸サテライト

特別講話 : 15:00~16:00

「知って得する年金の話」

—ご質問にお答えして—

社会保険労務士 土屋眞一氏

支部懇親会 : 17:10~18:55

於 神戸港クルージング船「コンチェルト」

会 費 : 男性7,000円、女性5,000円

アクセス : 支部総会場

兵庫教育大学神戸サテライト 講義室5

神戸市中央区東川崎町1-5-7

神戸情報文化ビル3階, Tel.078-361-5023

(JR神戸駅から徒歩約8分)

神戸ハーバランド\*地下2階C出口利用)



コンチェルト チケットカウンター(モザイク1F)

コンチェルト乗船場所(モザイク前)

コンチェルト

全長:74m

2,138ト

参加申込先:兵庫支部事務局長 二宮慶治郎

Tel. & Fax. 078-851-1875

E-mail: [ninom406@skyblue.ocn.ne.jp](mailto:ninom406@skyblue.ocn.ne.jp)



損害保険・医療保険・がん保険

の総合保険代理店

安心の発信基地

## 大村保険サービス

代表 大村実良

(昭和33年商学部卒)

652-0897

神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302

TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8316

## 兵庫支部善戦空しく7連敗

### 第12回兵庫支部・関西支部囲碁交流会

毎年春と秋に開催されている「囲碁交流会」は、今回で12回目となり、兵庫支部主催でJR三宮駅山側のグリーンシャポビル2Fの囲碁サロン「へぼ」において4月10日(金)午後1時から開催された。

これまで6連敗と不振の兵庫支部は、一矢報いんと大岡7段が参加可能な金曜日に設定し、赤松3級の新戦力を加えてリベンジを目論んでいた。



(左手前から、大岡、名越、平岡、山本)

大村兵庫支部長も応援に駆けつけ、兵庫支部も善戦したが、高段者を揃える関西支部が有利に戦い進める中、一番最後になった赤松・小葉竹戦で勝利すればタイとなるころだったが、惜しくも赤松3級の敗退が決まり、兵庫支部の9勝11敗と残念ながら返り打ちを喫することとなった。



小葉竹(左)と赤松(右)

次回は今秋10月ごろに関西支部主催で開催される予定で、連敗脱出に向けて兵庫支部の尚一層の奮起を促したい。

終了後は、兵庫支部月例会「三金会」会場の「雲南茶苑」で懇親会。

### 第12回兵庫支部・関西支部囲碁交流会成績表

	茨木7段	長谷部5段	徳丸5段	小葉竹4段	都留3段	兵庫支部
大岡7段	○		○	X		2勝1敗
平岡3段	X	○	○	○		3勝1敗
山本初段	○		X	X	X	1勝3敗
名越2級		○		X	X	2勝2敗
赤松3級	X	X		X	X	1勝4敗
関西支部	2勝2敗	1勝3敗	1勝2敗	4勝1敗	3勝1敗	

兵庫支部 9勝11敗、関西支部 11勝9敗  
通算成績：3勝9敗(チーム対抗), 104勝146敗2分(個人)



後列左から、小葉竹、赤松、茨木、平岡、都留、名越  
前列左から 徳丸、山本、大村、長谷部 (敬称略)

## 5月17日(日)に兵庫支部役員会開催

兵庫支部は支部総会開催を7月に予定し、その準備打ち合わせの為、下記の通り役員会を開催する。

記

日時：平成21年5月17日(日)13:30~

場所：新長田勤労市民センター

議題：平成21年度支部総会へ向けて

\*支部会計収支報告書承認

\*総会・懇親会次第の作成

\*案内状のチェック・会費徴収方法について

\*参加者動員対策について

\*その他

## 学部・学群1469名、大学院164名が入学

4月6日(月)北九州市立大学北方キャンパスにおいて入学式が挙行され、学部・学群に1469名、大学院に164名が希望に胸を膨らませて大学生活をスタートさせた。

新設された「地域創生学群」には114名が1期生として入学した。地域創生学群の理念は、幅広い教養と実践力を持った専門性を備え、地域に関する理論と現場理解により、地域社会をマネジメントし、地域の再生と創造に貢献できる人材を養成することとしている。114名のうち29名は社会人からの入学である。

同学群の特任教授としてメキシコ五輪マラソン銀メダリストで、北九州市教育委員の君原健二氏(68歳)が「スポーツ指導論」を、また直木賞作家で、北九州市立文学館館長の佐木隆三氏(72歳)が「地域学入門」を担当することになっている。

## 卒業生は学部1380名、大学院163名

平成20年度北九州市立大学学位授与式(卒業式)は、去る3月21日(土)午前10時から行われ、学部卒業生(男634名、女746名)大学院卒業生163名(男122名、女41名)の合計1543名が巣立っていった。

大学資料によると、卒業生の就職状況については、経済状況の悪化が企業の採用活度が一段落した昨年度以降であることから、平成21年2月1日現在では、就職内定率が90.4%(前年度90.4%)と前年並みとなっているが、景気の悪化が急激に進んでいることから最終的な就職状況については、前年度より厳しくなることも予想されている。

## 北九大が開幕2連勝

### 九州六大学野球春季リーグ戦開幕

4月8日(水)に福岡ヤフドームにて九州六大学野球春季リーグ戦が開幕した。

西日本新聞WEBNEWSによると、史上初のリーグ4連覇を狙う福岡大が一步リード。4連覇阻止の一番手は九国大。西南大、九大も上位をうかがう、と予想している。

第一週の結果は、北九大が西南大に3-1、7-0と連勝し、幸先良いスタート。福岡大は久留米大と対戦し1勝1敗、九国大は九大に2連勝した。

リーグ戦は5月24日までの予定。

## 世界遺産熊野古道を歩く

## 第2回 紀伊宮原駅前から河瀬王子まで11.7km

当初4月8日(水)を予定していたのだが、孫の入学式(8日)入園式(9日)と重なるため、急遽6日(月)に変更して参加。3月は水曜の便、今回は月曜の便となった為か3月に一緒だった人は誰もいなかった。



(名谷駅前に待機するバス) 第2回の出発地、紀伊宮原駅前に、紀ノ川SAでトイレ休憩後、10時前に到着した

本日の案内役は第1回と同じ中西さんを紹介され、早速ウォーキング開始。

駅からすぐ南の有田川を渡る「宮原の渡し場跡」に



(有田川の宮原の渡し場跡)

ここは江戸時代紀州藩は官道とし、宿駅を設け交通の要所として、人や馬が常備

されて大いに賑ったという。4~500mもあろうかと思われる長い宮原橋を渡り、「中将姫ゆかりの寺」と大きく看板を掲げた「雲雀山得生寺」に到着した。天平年間に継母により雲雀山に捨てられた藤原豊成の娘(中将姫)受難の旧跡とのこと。

そこから10分ばかり歩くと糸我(いとが)稲荷神社に到着し

その隣にある歴史民俗資料館に入る。興味深かったのは、藤原定家の熊野御幸記という巻物(国宝)が展示され、その記述に従って図示した物が展示されていた。

それによると1201年10月5日京都を出発し、9日有田を通過し、



(藤原定家の熊野御幸記を図示した物)

16日に熊野本宮に到着したという。高貴なお方は馬によるのだろうが、一日30キロ40キロの行程で、17日間で踏破している。

その熊野御幸記には「いとが王子」に参ったとしているが藤原頼資は「糸我」と表示していると、「糸我王子」の説明板には書かれている。

熊野古道には九十九王子があり休息所・宿泊所となっていたと言い、世界遺産に登録されただけに、各王子跡にはこのような和英両文による説明板がある。ここ糸我王子跡には王子社が祀られ小さな祠が建てられて、桜が丁度満開であった。

(糸我王子の説明板(上)と糸我王子社(右))



糸我王子跡を過ぎた辺りからミカン山に入り緩やかな坂道を登り糸我峠を越える。第1回の長い急坂道に比べれば楽勝である。

登りきった所に峠の茶屋跡があり、そこで一息入れて長い下り坂を降りて行く。



(糸我峠を目指し坂道を登る)



夜泣松を語る語り部(中央)

少し降りた所に「夜泣松」という看板があった。戦争中までここに松の大木が繁っていて、伝承によれば、昔平清盛が連れの子が夜泣きをするのでこの松の枝をくすべたと泣きやんだという。

やがて集落のある平坦な場所に出ると「行者の石」がある吉川の憩いの家に到着した。もとは逆川の祓い井戸にあってこの上に立って身を浄めたという伝説の石で、逆川改修の時現在地に移設されたとの事。ここで昼食をとる。



逆川の名は、付近の川は海

に向かって西流するのにこの川は逆の東に流れているためという。逆川神社・逆川王子を通り過ぎて上り坂



に差し掛かると「後白河法皇腰掛岩の跡」や「弘法の井戸」などの伝承地を通り過ぎて方津戸峠を越えて湯浅の町へと入って行く。



(弘法の井戸)

(後白河法皇腰掛岩の跡)湯浅は醤油発祥の地であり、13世紀初め法燈国師が中国より伝えた径山寺味噌より此

の湯浅で生まれた調味料という。古い町並みが続く湯浅の町中に2mを越す立石道標がある。「きみみてら」「右いせかうや」などと表示されている。天保9年(1838)に建てられたものとのこと。法皇や上皇が熊野行幸の際は仮行在所となったという「深専寺」などを訪ね、湯浅駅前の「文平(紀伊国屋文左衛門幼名)の像」がある広場で休憩。駅前の果物

店でミカン4~5個入り一袋100円で売っており2袋リュックに放り込む。

湯浅駅前を通過して、本日のゴール地点河瀬(ごのせ)王子まで約5km。生誕地と推定される場所に建

立された紀伊国屋文左衛門の顕彰碑、今は石碑のみの久米崎王子跡、阪和道広川

ICの傍にある津兼王子跡などを通り、旅籠跡が続く通り

を過ぎて、やっとゴールの河瀬王子に到着。ここも桜が満開だ。ストレッチ体操をして

帰りのバスに乗り込む。



## 歩こう会3月例会

## 万博公園で観梅ハイク

今年の観梅ハイクは、当初大阪城公園内の梅園を予定していたが、温暖化の影響？か既に盛りが過ぎているとのことで、急遽大阪万博公園内の梅園に変更して実施された。

3月8日(日)阪急とモノレールを乗り継いで集合場所の公園東口駅に11時前に到着した。

昭和45年(1970)に開催された万博に生まれて間もない長女を連れて田舎から出てきた両親とともに訪れたことを思い出す。それ以来39年も経っているが、電車から遠くに見える「太陽の塔」を見て懐かしむだけだったので期待が膨らむ。モノレールから見える「太陽の塔」に早速カメラを取り出した。

本日の参加者は二宮、藤田、河野、安徳、名越とゲスト参加の岡本氏と高須さんの7名である。



(公園東口駅に集合)

入り、梅林方面へと向かう途中に、小さなせせらぎのそばの猫やなぎを見つけた。田舎の川端には沢山生えていたが、と懐かしく思い出す。梅林までは2-3分で到着。



(梅は見頃だった)

が行われていた。

日本庭園を出て真っ直ぐ南へ、太陽の塔の方へ向かうと「お祭り広場」ではガレージセールが開催されていた。入場料350円とある。フリーじゃないんだ。

自然文化園方面に向かうと梅林が見えてきた。こちらは規模も大きく大勢の人が弁当を広げたりして楽しんでいる。

この自然文化園の中の梅林は約5500㎡で89品種、約570本が植えられているという。因みに日本庭園の梅林は1500㎡で39品種約90本とのこと。

この万博公園でしか見られ



[万博の象徴「太陽の塔」]

に見える「太陽の塔」を見て懐かしむだけだったので期待が膨らむ。モノレールから見える「太陽の塔」に早速カメラを取り出した。

本日の参加者は二宮、藤田、河野、安徳、名越とゲスト参加の岡本氏と高須さんの7名である。

入園料250円を払ってまずは日本庭園へ向かう。少し汗ばむほどの小春日和、池では家族連れが遊覧ボートを楽しんでいた。

万博開催当時の庭園が残されたという日本庭園内に

入り、梅林方面へと向かう途中に、小さなせせらぎのそばの猫やなぎを見つけた。田舎の川端には沢山生えていたが、と懐かしく思い出す。梅林までは2-3分で到着。

この梅林は小規模ではあったが、丁度見頃で、暫くカメラに収めたりして時間を過ごした後、庭園内を半

周する形で正門前まで戻ると中央休憩所では雅楽の演奏会

が行われていた。日本庭園を出て真っ直ぐ南へ、太陽の塔の方へ向かうと「お祭り広場」ではガレージセールが開催されていた。入場料350円とある。フリーじゃないんだ。



(梅林の向こうには太陽の塔)

ないという「桃山」や珍種とされる「月の光」「朱鷺の舞」そして花色や花形に特徴のある「黄金梅」「邦彦梅」「茶筌」なども植えられているそうだ。

ここで昼食をとることにして弁当を広げる。

昼食後は、安徳・岡本の二人は国立民族学博物館を見学に行くことに、二宮・藤田・名越の3人は自然文化園の中を散策

河野・高須の二人は早めに帰参することとなった。

昼食場所ですべての記念写真を撮り、それぞれの目的に向かう

(昼食後、記念撮影、安徳、名越、河野、高須、藤田、岡本、二宮)

我々は梅まつりをしているという「水車茶屋」へと向かう。途中「森の足湯」(無料)があり順番待ちの行列が見えた。「水車茶屋」では古ぼけた水車が廻っていた。説明によると、村の(現箕面市)共有物として昭和28年に作られたもので、そこでは文政年間(1810年代)に初代が設置されて、余野川べりに米つきの音を

立てていたが、時代の変遷に伴い、使用されなくなり昭和48年に万博公園に寄贈されたものとのこと。

梅まつりの会場では無料の梅茶を楽しんだ後、自然文化園の散策に出発。参集地点の太陽の塔の前の万博記念公園駅までの約2.5kmを春の陽射を一杯浴びながら歩く。

途中の「夢の池」畔には、青木洋氏が自作のヨットで昭和46年6月から49年7月まで、3年2ヶ月かけて世界一周してギネスブックに載ったというヨット信夫翁(あほうどり)二世号が展示されていた。

安徳・岡本両氏と合流し太陽の塔の前で記念撮影をして帰路につく。

大阪モノレールの利用は初めてで、万博公園までは三宮から1時間強と意外に早く、便利に行くことができるのだと気付かされた。



(梅林の向こうには太陽の塔)



(古びた水車が回っていた)



途中の「夢の池」畔には、青木洋氏が自作のヨットで昭和46年6月から49年7月まで、3年2ヶ月かけて世界一周してギネスブックに載ったというヨット信夫翁(あほうどり)二世号が展示されていた。



(梅林の向こうには太陽の塔)